

令和3年度 第1回「逗子市地域公共交通会議」会議概要

日 時：令和3年7月28日(水)

午後3時から午後4時10分まで

場 所：市役所5階 第2会議室

出席者：(メンバー)

京浜急行バス株式会社 長塚 隆介

京急葉山交通株式会社 澤田 実

一般社団法人神奈川県バス協会 小堤 健司

一般社団法人神奈川県タクシー協会鎌倉支部 菊池 尚

逗子アーデンヒル自治会 菊地 透

関東運輸局神奈川運輸支局 三橋 裕

国際自動車横浜労働組合 丸山 順一郎

神奈川県逗子警察署 工藤 誉

神奈川県横須賀土木事務所 宮島 直人

逗子市都市整備課 須田 透

逗子市環境都市部 石井 義久(座長)

NPO法人かながわ福祉移動サービスネットワーク 清水 弘子(アドバイザー) ※WEB参加

：(事務局)

環境都市部 青柳次長、環境都市課 坂本係長

傍聴者：なし

内 容：逗子アーデンヒル地区におけるデマンド型乗合タクシー実証実験について

- 事務局より参考資料に基づいて、「逗子市地域公共交通会議運営要綱」及び「道路運送法の法体系及び地域公共交通会議の位置付けについて」を説明
- 事務局より案件の「逗子アーデンヒル地区におけるデマンド型乗合タクシー実証実験について」を説明

《意見等》

- ・ 文書によるアンケートだけでなく、モニター制度などで実際の利用者の声を聞くことでサービスの向上を図ることができると良い。
- ・ 最初は、興味はあっても行動に移すのが難しい。高齢の方で外出をあきらめている方も多いため、周りの方の誘い合いがないとなかなか利用に結びつかない。乗合いを作るのは本当に難しい(同様のケースで平均乗車1.0人というのはよくあること)。同じ地域の方でも顔見知りとは限らず、自分以外の者と肌が触れ合う距離で乗車するには抵抗があるという声はよく聞く。セダン型より大きめの車両でスタートするのは良いと思う。
- ・ いわゆる“危険バス停”の問題もあるので、交差点や横断歩道付近での安全確保に十分注意してほしい。
- ・ 東逗子駅構内については既存の乗り場があるが、利用者が通常のタクシーと混同しないよう、また、スペースも限られるため、安全面や待ち時間も考慮したうえで、しかるべき場所の調整をすること。
- ・ 回数券方式では、チケットに行先などを記載してもらうことで、移動需要の把握ができると良い。

- ・ アーデンヒルから東逗子駅周辺までの下りより、上りの方がたいへんである。利用者負担額と運行経費の差額を補填することについて、自治会費で賄う場合、過大な金額では続かない。実証運行のなかでニーズを的確に把握してほしい。
- ・ 運賃（大人300円想定）の精査は非常に重要になる。運転手にメリットがなければ、誰もこの仕事をやらなくなってしまう。タクシー運転手の給料は歩合制が基本。運転手が嫌がることになれば、タクシー事業者も苦慮するのではないか。
- ・ タクシー運転手、タクシー事業者にとって負担とならないようにすべき。
- ・ タクシー事業者が予約を受け付けることの負担も考慮すべき。通常のタクシー運行の場合の利用者個人との契約と比べ、“乗合い”による運行は利用者が複数となるため手間が多くかかる。また、実証運行の延長で本運行ができるというわけではないことは理解してほしい。
- ・ （道路運送法）21条の規定により運行する乗合旅客運送の運賃については、地域公共交通会議での同意を得たうえでの“協議運賃”と呼び、通常のタクシー事業の「認可運賃」ではなく「届出運賃」という区分になる。
- ・ “100円バス”の例では、利用者が支払う運賃は100円でも、それでおしまいではなくて、自治体等との委託契約により不足分を補っている。事業者の収支が償えれば、運転手へしかるべき賃金が支払える。運行経費の基の計算を認可運賃ベースにするのか、それ以外のベースとするのかは原価の考え方で異なるが、事業者の収支が償えるような形が一般的に行われているところ。乗合タクシー300円ということでは、バスよりは高く、通常のタクシーよりは安いというところで落ち着いている。あとは、逗子市とタクシー事業者でどう収支を償えるのかというところをつめてもらえれば前に進めるのではないかと。
- ・ 民間会社で赤字を出してまでやるというのは考えられない。
- ・ 制度の壁や採算性の課題等あると思うが、社会情勢も変わってきており、国も色々な地域の資源を総動員してと言っているくらいなので、交通事業者と高齢化等の地域の課題をうまくマッチングして、是非成功させていきたい。そのための半年間の検証だと思う。自治会が主体的に行う場合にどこがネックなのか、どこがハードルなのか検証するにあたって、あらゆる視点をもって臨んでほしい。採算が合わないからやらないではなく、交通事業者がどうしたら住民の課題に向き合えるのか、逗子市と一緒に考え成功例をみせてほしい。

《結果》

- ・ 実証実験の実施について、概ね了承を得た。